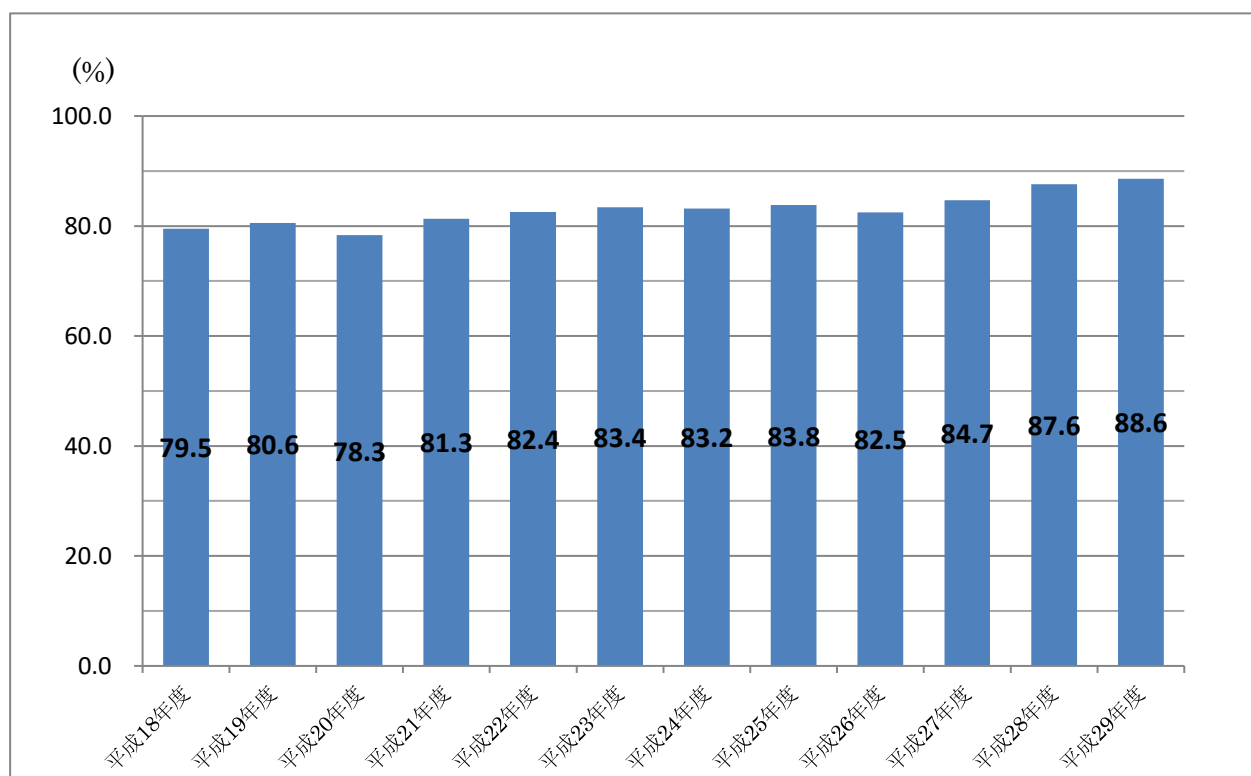


28. 病床利用率



病院の経営指標の一つである病床利用率は、どの施設においても重要な指標として、注目される項目である。

当院の病床数は、平成22年2月よりそれまでの1,505床から1,494床、平成24年1月から1,489床に病床数が減少、平成25年度より再び1,505床となった。平成27年5月からはA棟開棟に伴い1,435床へ減少した。平成28年度は、B棟開棟に伴う工事の為、稼働病床数を1,338床（H29.3.31時点）まで減少させたが、平成29年度のB棟開棟後は、稼働病床数を1,394床（H30.3.31時点）と増加させている。また、当院におけるベッドコントロールについては、看護部を中心として進め、病床利用率は概ね上昇傾向にある。特に、平成28年度においては87.6%、平成29年度は88.6%と近年大きく上昇している。

今後は、確実性のある病院経営のために、更なるベッドの有効利用を実現し、病床利用率90%を目指して、病院全体で進めていく必要がある。